

議題 3. 平成 25 年度事業計画（案）

I. 総務会

1. 委員会の開催予定

第 1 回を平成 25 年 4 月に予定。

以降、平成 25 年度理事会の議題調整等を主な内容として、理事会の開催に合わせ、概ね 2 か月に一回程度開催する。

2. 事業計画と年間目標

- 1) 平成 25 年度～27 年度重点事業（目標）を進める。
- 2) 第 85 回（平成 26 年度）総会の開催を準備する。
- 3) 地区会事務局連絡会議を秋頃に開催する。評議員会は未定。
- 4) JMLA ロゴと「ヘルスサイエンス情報専門員」名称の商標権登録を行う。
- 5) 受託事業について規定化を図る。
- 6) 会員の義務と権利の明確化と広報に努める。
- 7) 委員会運営について、理事及び委員交代時の引き継ぎと、議事要録等の記録の残し方について方針を定める。
- 8) 日本医書出版協会（JMPA）との協議を継続。著作権遵守については JMPA と JMLA 双方の名前による啓蒙パンフレット、ポスター配付を実施する。
- 9) 中央事務局体制について継続検討する。
- 10) 法人種別を再検討する。
- 11) 日本薬学図書館協議会等、関連団体との事業及び組織連携を進める。
- 12) その他、理事会及び各委員会活動に関する検討、意見調整を行う。

3. その他

担当委員会のあるものは、当該委員会の事業計画（案）を参照のこと。

II. 企画・調査

1. 委員会の開催予定

- | | | |
|-------|------|-------------------|
| 第 1 回 | 7 月 | 年間事業の策定と実施内容の調整 |
| 第 2 回 | 11 月 | 年間事業の進捗状況の確認と各種審議 |
| 第 3 回 | 3 月 | 事業のまとめと改善事項の検討 |

2. 事業計画と年間目標

- 1) 第 84 次加盟館統計の発行
 - (1) 6 月 データ提出依頼
 - (2) 9 月 完成版の協会ホームページへの掲載
- 2) 第 64 回重複雑誌交換事業
 - (1) 7 月 データ提出依頼
 - (2) 10 月 データの協会ホームページへの掲載
 - (3) 11-12 月 交換期間

- (4) 12月 実績報告書提出
- 3) 「要覧 2013」の発行
 - (1) 4-7月 原稿提出依頼
 - (2) 9月 発行(印刷版、ホームページ版)
- 4) 年間目標
 - 未対応の「主要3事業アンケート」の結果を検討し、事業に反映させる。

Ⅲ. 機関誌「医学図書館」編集

- 1. 委員会の開催予定
 - 第1回 平成25年4月 企画・編集
 - 第2回 平成25年7月 企画・編集
 - 第3回 平成25年10月 企画・編集
 - 第4回 平成26年1月 企画・編集
- 2. 事業計画と年間目標
 - 1) 機関誌「医学図書館」の定期刊行
 - 2) J-STAGEによる最新号の公開
 - 3) Journal@chive 事業の有効利用促進
 - 4) 編集体制の安定強化
 - 5) 本協会の他事業との協力および関連性の強化
- 3. その他
 - ・機関誌「医学図書館」読者層の拡大

Ⅳ. 出版

- 1. 委員会の開催予定
 - 第1回 6月 平成25年度出版企画計画
 - 第2回 12月 出版進捗状況
 - 第3回 2月 次年度への課題整理
- 2. 事業計画と年間目標
 - 1) 図書の出版
 - (1) 「わかりやすい医中誌 Web 検索ガイド-検索事例付-」の出版
 - (2) 「図解 PubMed の使い方 改訂増刷版」の出版
 - (3) その他
 - 2) 「相互利用便覧」Web版の更新
 - 3) 過去の出版物の在庫整理

V. 広報、ホームページ担当ワーキンググループ

1. 委員会の開催予定

広報に関する事項は、総務会にて審議することとし、広報委員会は開催しない予定。

ホームページ担当ワーキンググループ委員会

第1回 11月 ホームページの構成及び更新作業について

2. 事業計画と年間目標

- 1) 本会の諸活動に関する会員間の意見交換、会員外への宣伝活動の促進
- 2) 本会案内パンフレットの更新
- 3) 本会ロゴの商標登録
- 4) 本会ホームページの管理

VI. 雑誌

1. 委員会の開催予定

第1回 6月 コンソーシアム交渉進捗確認

第2回 8月 コンソーシアム説明会準備

第3回 2月 交渉、説明会の反省と次年度交渉、説明会スケジュール立案

2. 事業計画と年間目標

1) コンソーシアム提案交渉

JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、出版元・代理店と平成26年契約に向けたコンソーシアム提案の交渉を行う。

2) コンソーシアム提案の充実

病院向け提案、日本語資料の提案、保健医療領域に特化したコンソーシアム提案の充実に努める。

3) コンソーシアム説明会の開催

JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、電子ジャーナル・コンソーシアム説明会を京都（平成25年8月30日）と東京（平成25年9月3日）とで開催する。

4) コンソーシアム交渉の負担軽減

コンソーシアム交渉の負担を軽減できるよう、スケジュールなどを工夫する。

5) 他コンソーシアムとの連携

他コンソーシアムの動向を注視するとともに、必要に応じて、情報交換や協力活動を図る。

6) 分担購入・分担保存の見直し

分担購入・分担保存のあり方についての提案を作成する。

VII. 教育・研究

1. 委員会の開催予定

第1回 5月 年間計画と業務分担、研修会マニュアル改訂

第2回 7月 日本薬学図書館協議会連携事業、図書館総合展フォーラム企画

第3回 9月 基礎研修会事後レポート審査、奨学基金規程

第4回 12月 研修会マニュアル・講師向けガイドライン改訂、助成申請審査

2. 活動計画と年間目標

- 1) 第20回医学図書館員基礎研修会（関東地区）
- 2) 第20回医学図書館研究会・継続教育コース（九州・沖縄地区）
- 3) 第15回図書館総合展フォーラム（JMLA/JPLA 共催）
- 4) 日本薬学図書館協議会地域連携事業（医療・健康情報シンポジウム：JPLA/JMLA 共催）
- 5) 研究助成および海外研修助成募集
- 6) 研修会マニュアル改訂
- 7) 講師向けガイドライン改訂
- 8) 基礎研修会事後レポート審査
- 9) 奨学基金に関わる事業の運用策定
- 10) 専門職能力開発プログラム構築への協力連携
- 11) NPO 法人医学中央雑誌刊行会受託研究、平成25年度「保険薬局における医中誌 Web の利用と一般市民への情報提供」
- 12) 日本薬学図書館協議会 教育・研究委員会との連携推進

3. その他

- 1) 専門職能力開発プログラム構築と、それに連動した研修プログラムの検討については、認定資格運営委員会、専門職能力開発委員会と連携しながら事業を進める。
- 2) 海外からの講師招聘、国際会議への参加推進については、国際交流委員会と連携する。

Ⅷ. 医療・健康情報

1. 委員会の開催予定

第1回 5月 (1) 年間計画確認、(2) 図書館総合展フォーラム、(3) 出版物、(4) ホームページ、(5) 平成26年度医療・健康情報サービス研修会（講師派遣型）、(6) 指導要領の作成、(7) 北海道地区会との連携による医療・健康情報サービス研修会の開催

第2回 7月 (1) 平成25年度日本薬学図書館協議会地域連携シンポジウム、(2) 平成25年度医療・健康情報サービス研修会の開催（参加者募集型）

第3回 9月 (1) 図書館総合展フォーラム、(2) 平成26年度医療・健康情報サービス研修会の開催（講師派遣型）

第4回 11月 (1) 地区会との連携計画、(2) 平成25年度医療・健康情報サービス研修会の開催（参加者募集型）

第5回 2月 (1) 指導要領の作成、(2) 平成26年度事業計画

*医療・健康情報ワーキンググループ会議を1～2回開催予定

2. 事業計画と年間目標

- 1) 図書館総合展フォーラムの企画と実施
 - (1) 医療・健康情報サービスに関するワークショップを開催する。
- 2) 医療・健康情報サービス研修会講師用指導要領の作成
 - (1) 例：パワーポイントのテンプレートを準備する。
講義のポイントや流れを一覧表にする。

- (2) 事業5でテスト運用し、改善の成果を事業4で確認する。
- 3) 医療・健康情報サービス研修会（講師派遣型）の企画と開催館の募集
 - (1) 平成26年度以降に研修会開催を希望する公共図書館等を募集する。
 - (2) 実施順序を決定し、応募館に回答する。
 - (3) 開催決定地区の会員に講師を依頼する（講師育成および開催館の経費負担軽減が期待できる）。
- 4) 医療・健康情報サービス研修会（参加者集合型）の企画と実施
 - (1) 平成26年2月頃の開催（東京）を目指す。
 - (2) 実行委員会を組織する。委員には、事業3の実施地区の会員に協力を要請する。
- 5) 地区会との連携に関する検討
 - (1) 地区会と協力し、効果的な連携のあり方について探る。
 - (2) 地区会員に講師を要請し、公共図書館員向け研修会を試行する。
 - (3) 地区会に、事業2の指導要領（案）の改善など、協力を要請する。
- 6) 日本薬学図書館協議会主催（当協会共催）地域連携シンポジウム協力
 - (1) 平成25年10月5日（土） 札幌市にて開催予定
- 7) 『やってみよう図書館での医療・健康情報』増補版の編集と出版
 - (1) 5月頃より編集作業を開始する。
 - (2) 部数、販売形態については出版委員会と調整する。
- 8) 委員会ホームページの作成・開設・運用
 - (1) 国立ヘルスサイエンス情報センター検討委員会と共同運用する。

3. その他

- (1) 当委員会が対象としている公共図書館や患者図書室は、全国に存在しており、委員とWGメンバーだけで事業を進めることは困難かつ非合理的である。各地域に医療・健康情報サービスのネットワークが形成されることが理想であり、実現のためにはJMLA地区会や他団体との連携が必須と考え、複数年計画で、様々な働きかけを行うことを検討している。
例) 講師育成集合型研修会の開催（事業3と隔年実施）、地区会研修会に赴き指導要領に基づくミニレクチャーの実施など。
- (2) 新規事業に着手することを予定しているため、平成25年度は委員を2名程度増員し、着実に進めていきたいと考えている。
- (3) 図書館総合展フォーラム、各種研修会、地域連携シンポジウムについては、教育・研究委員会と連携して進める。
- (4) 各事業の実施にあたり医療・健康情報WGと協働する。

IX. 認定資格運営

1. 委員会の開催予定

第1回	6月	予定内容	年間計画、第20回募集準備
第2回	9月	予定内容	第20回認定資格審査
第3回	12月	予定内容	事業報告・計画、第21回募集準備
第4回	2月	予定内容	第21回認定資格審査

2. 事業計画と年間目標

1) 申請募集と認定審査

平成 25 年 7 月の第 20 回、平成 26 年 1 月の第 21 回申請募集に合わせ、約 1 か月前から申請広報を、それぞれ 9 月および 2 月の会合で審査を行う。

2) 業務分掌の共有と明文化

認定資格運営に関わる当委員会、事務局間の業務分掌の確認を継続し、明文化による共有を目指す。

3) 資料の整備と保存の見直し

年二回の認定審査や関連する活動に際して、継続性を踏まえた資料の整備を行い、詳細な審査の記録を残す。また、2014 年 1 月に制度創設 10 年を迎えるにあたり、過去の事例や記録等を再確認する。さらに、過去の申請書類の保存方法について見直しを行い、電子化も含めた方法を検討し、規程の改訂を提案する。

4) プロモーショングッズの作成と配布

計画中の、申請促進の広報と同様に、資格の社会的認知度向上のためのプロモーショングッズの作成、取得者への配布を行う。

5) 「活用の手引き」の普及

改訂中の、取得者による広報支援のための「活用の手引き」を、協会ホームページに掲載して普及をはかる。

6) 専門職能力開発プログラム実現への協力

専門職能力開発プログラム推進委員会の検討結果を踏まえて、同プログラムにおけるヘルスサイエンス認定資格制度の事業体制と、申請・審査方法を提案する。

3. その他

1) JMLA ウェブサイトに掲載している規程は、次回の第 20 回募集からは、PDF 化してリンクを張る構成に変更する。

2) 他の図書館関連団体が認定する資格や検定試験との連携については、具体的な働きかけがあれば対応する。

X. 専門職能力開発

1. 委員会の開催予定

第 1 回	5 月	総会オープンフォーラム準備
第 2 回	6 月	シラバス作成 WG 計画専門職能力開発プログラム微修正
第 3 回	9 月	シラバス、研修制度検討
第 4 回	12 月	シラバス、研修制度検討
第 5 回	2 月	専門職能力開発プログラム最終案まとめ

2. 事業計画と年間目標

1) 専門職能力開発プログラム案に対する意見の収集

ホームページに掲示板を設け、平成 24 年度に改訂した専門職能力開発プログラム案に対する意見を募る。

2) 第 84 回総会オープンフォーラム実施

専門職能力開発プログラム案について進捗報告とディスカッションを行い、会員の周知と合意を得る。

3) シラバスの作成

講師候補者でコア・カリキュラムと定番の継続教育科目について、ワーキンググループ

を組織し、シラバスの作成を行う。

4) 新認定資格制度の移行の検討

認定資格運営委員会の協力を得て、新認定資格制度への移行と運用について検討をしてもらう。

5) 専門職能力開発プログラムの整備

2年間の委員会活動の成果として専門職能力開発プログラムをまとめ、移行に関する提言を添え最終案とする。

3. その他

本委員会は臨時委員会として、最終案の提出をもって今年度で活動を終了する。

XI. 受託事業

1. 委員会の開催予定

委員会として会議を持たず、総務会で全体を統括する。個々の事業については次項参照。

2. 事業計画と年間目標

1) 診療ガイドライン作成支援-診療ガイドラインワーキンググループ

(1) 委員会の開催予定

第1回 WG 委員会 (8月)

第2回 リーダー会 (未定)

(2) 事業計画と年間目標

①診療ガイドライン受託

年間受託10件~15件を目標とする。

②研修会開催

文献検索講習会上級 (8月)

③ガイドライン受託条件の見直しを図る。

④CQと検索式のデータベース化を検討する。

⑤CQ・KW・代表文献リスト等関係文書の集中管理を検討する。

2) 医学中央雑誌刊行会受託事業

(1) 保険薬局における医中誌Webの利用と一般市民への情報提供についての調査

①委員会の開催予定

未定

②平理事を主担当として実施する。

(2) 医中誌Webチュートリアル作成

①委員会の開催予定

未定

②未作成章のコンテンツを作成する。

③Web化されたコンテンツを点検する。

④作成済みコンテンツ内容の更新を行う。

3. その他

引き続き、総務会を担当委員会とし、それぞれの事業にワーキンググループや研究班、リーダー会を組織して活動する。なお、JMLAの社会的・学術的活動の普及、会員のスキルアップ、

収入の安定化などの目的はある程度達成されているが、そのために会員への負担が増大することのないよう、事業内容の見直しを行う。

XII. 国立ヘルスサイエンス情報センター

1. 委員会の開催予定

第1回 8月 予定内容 総会フォーラムの総括とモデル事業の検討

第2回 12月 予定内容 6団体協議会を踏まえ、今後の行動計画策定

第3回 3月 予定

他に「からだところの情報センター」HPのワーキンググループ会合が1回

6団体協議会が1回 開催を予定

2. 事業計画と年間目標

1) ポータルサイト「からだところの情報センター」

6団体による連携、および医療・健康情報委員会の協力のもと、HP運用をはかり、一般国民・図書館員にとってより解かりやすく使いやすいように更新するとともに、更新回数も増やす。

6団体：・日本医学図書館協会

・近畿病院図書室協議会

・日本病院ライブラリー協会

・日本農学図書館協議会

・日本薬学図書館協議会

・日本看護図書館協会

2) 国立の施設の必要性を検討する6団体協議会

協議会を開催し、互いの意見を交換する。(10月頃)。

3) 関係機関との協議

国立国会図書館との意見交換の場を設ける。(平成26年2月頃)

XIII. 国際交流

1. 委員会の開催予定

第1回 5月 予定内容:EBMセミナー、MLA参加促進キャンペーン準備ほか年3回程度開催予定。2回目以降の時期未定。

2. 事業計画と年間目標

1) 英文ホームページの公開

2) KMLA連携事業における派遣者の見直し、定型化の推進と覚書締結の提案

3) 「日本医学図書館協会および米国医学図書館協会間における二者協定」に基づく連携事業の開始

(1) MLA'14へ、JMLA公式代表者の派遣を検討する。

(2) 2014年度JMLA総会へのMLA公式代表者の招待について調整を行う。

4) MLA参加促進キャンペーンの実施

5) EBMセミナーの開催

3. その他
委員の増員

XIV. 組織・制度

1. 委員会の開催予定

- 第1回 6月 平成25年度総会審議結果の確認（細則・規程関係）
「総会運営に関する細則」の改正内容、運用方法の確認
各委員会の活動、調査グループの位置づけに関する案の作成
- 第2回 9月 会員の権利（特典）と義務の文書化と周知方法の提案
本会の活動に即した法人組織の在り方の案の作成
- 第3回 11月 議事要録、協会作成文書の形式案の作成
- 第4回 1月 平成26年度総会での審議に関する事項
- 第5回 3月 平成26年度総会での審議に関する事項

2. 事業計画と年間目標

- 1) 会員の権利（特典）と義務の明確化
- 2) 本会の活動に即した法人組織の在り方の提案
- 3) 議事要録、協会作成文書の形式の統一

XV. 部会 病院部会

1. 幹事会の開催予定

- 第1回 9月 見学会打ち合わせ、次年度活動計画検討

2. 活動計画と年間目標

- 1) 病院見学会
平成26年2月 見学先は未定
- 2) 定例会
総会時に定例会を開催する
- 3) 第84回総会分科会
分科会A「診療ガイドラインの最新動向と作成支援」の運営を担当する